

令和3年度第2回地球温暖化対策おおいた市民会議について（報告）

委員の皆さまよりいただいたご意見やご提案等につきましては、「質問」と「意見・提案」に整理し、「質問」については、回答を掲載しています。また、「意見・提案」につきましては、令和4年度の各部会の中で、議題としてご協議いただきたいと考えております。

1. 令和3年度普及啓発部会の取組について

質問：令和3年度第1回市民会議全体会で提出された議題等について

委員	令和3年度第1回地球温暖化対策おおいた市民会議全体会議の報告にあがっていた普及啓発部会等で取り上げたいテーマとして、両部会に共通する議題、普及啓発部会に關係する議題が挙げられていましたが、それらのテーマがどのように参考にされて協議されているのかを教えてください。
事務局	<p>本年度は、対面による会議は第1回普及啓発部会、第1回実行計画推進部会の開催のみとなりました。このため、今年度の部会内で優先して協議しなければならない項目について、委員の皆さまにはご協議いただいたところです。</p> <p>次年度の会議では、令和3年度の各全体会議でいただいた、ご要望、提案を主に協議してまいりたいと思います。</p>

質問：令和3年度第1回市民会議全体会でのガイドブックに関する意見について

委員	令和3年度第1回地球温暖化対策おおいた市民会議全体会議の報告にあがっていた地球温暖化対策ガイドブックについての意見は、普及啓発部会の中で検討することとなっていましたが、それぞれの意見についてどのような検討がなされたのかを教えてください。				
事務局	<p>本年度は普及啓発部会が1度みの開催になりました。</p> <p>時間の都合もあり、全てのご意見について協議できませんでしたが、ご意見の一部を反映し、ガイドブック改訂について第1回普及啓発部会で協議していただきました。</p> <p>「令和3年度第2回地球温暖化対策おおいた市民会議」の報告書に記載がなかったそれぞれのご意見への対応を以下にお示しします。</p> <table border="1"> <tr> <td>意見1</td> <td>発行部数を増やしてはどうか。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td> <p>発行部数を大幅に増やすことは難しいと考えています。</p> <p>次年度の出前授業実施校の児童・生徒数から算出した冊数に、市内の全小中、義務教育学校の小学校5,6年生、中学校1～3年生のクラス数から算出した冊数を加えたものが製本数の基本となり、令和3年度は4,500部で</p> </td> </tr> </table>	意見1	発行部数を増やしてはどうか。	事務局	<p>発行部数を大幅に増やすことは難しいと考えています。</p> <p>次年度の出前授業実施校の児童・生徒数から算出した冊数に、市内の全小中、義務教育学校の小学校5,6年生、中学校1～3年生のクラス数から算出した冊数を加えたものが製本数の基本となり、令和3年度は4,500部で</p>
意見1	発行部数を増やしてはどうか。				
事務局	<p>発行部数を大幅に増やすことは難しいと考えています。</p> <p>次年度の出前授業実施校の児童・生徒数から算出した冊数に、市内の全小中、義務教育学校の小学校5,6年生、中学校1～3年生のクラス数から算出した冊数を加えたものが製本数の基本となり、令和3年度は4,500部で</p>				

	<p>した。</p> <p>市内の出前授業に参加する児童・生徒全員に各1冊、全小中、義務教育学校には各クラス2冊（教室用1冊 担任用1冊）を配布しています。</p> <p>また、省エネ懇談会や、環境に関する講演会等でも参加者に配布しております。</p>
意見2	ガイドブックについては年々見やすくわかりやすくなり良いと思う。
意見3	引き続き適宜改訂を行い、より良いガイドブックにしていければと考える。
意見4	1ページ目 「どこから排出されているの？」の説明文について 文中の「家庭で電気を使ったり」を「火力発電で電気を発生させたり」と変えた方が良いのではないかと思う。
事務局	意見4は改訂時に反映しました。
意見5	3ページ目 二酸化炭素排出量について 2016年よりも新しいデータが望ましい。
事務局	ガイドブック作成時に国及び出典先が公表している最新の数値を利用し、大分市の数値を算出していますので、2016年が最新の数値となります。
意見6	6ページ目 「日本の取組」の説明について 2030年度の温室効果ガス削減目標値の26%を46%に、目標排出量10億トンと7.5億トンに変更してはどうか。
事務局	新たに「私たちの生活と二酸化炭素」のページを掲載するため、部会内で協議していただき、6ページ目「日本の取り組み」の掲載を割愛しました。今後も部会で協議のうえ、検討してまいります。
意見7	6ページ目 「日本の取組」の説明について 大分市の2030年目標設定が困難な場合はその旨を掲載するべきではないのか。
事務局	意見6への回答と同じです。
意見8	地球環境を保全する為には樹木が必要不可欠（生産者という機能、樹体に炭素を固定する機能、樹体に水を保持する或いは蒸散すると同時に水質を浄化する機能等を樹木が有する為）」という内容を取り入れると更に良いと思う。日本も含め世界各地で発生している大規模森林火災、経済活動などの開発に伴う森林伐採、近年多発している自然災害による山崩れ等の森林崩壊などによって世界中で樹木が失われ

		続けている事を伝えることも必要ではと考える。
事務局		地球環境の保全や樹木の必要性、生態系の開発や乱獲、自然災害については、小学5年生の社会の教科書や「環境教育副読本」内の「自然」(P1~6)で掲載があり、授業の中で学んでいます。このことから、環境教育副読本に今後反映できるか検討します。
意見9		化石燃料について分かりやすく伝える事も大切であると思う。併せてプラスチック製品の多くが化石燃料から作られている事や、適切に洗浄されない場合、再利用ができず燃やされ、地球温暖化につながってしまうことも伝えることができると良いと思う。
事務局		プラスチック製品が化石燃料由来であること、適切に洗浄されない場合は再利用ができないことは、出前授業の話の中で紹介していきます。
意見10		ガイドブックの説明では人為的なガス排出のみが悪者のような説明に見えて幼少期の教育には情報が不十分ではと感じる。 CO2排出は人類・生物からの排出分もあり、森林による吸収分、太陽光発電による森林破壊の影響等総合的に理解することが必要では。
意見11		新しい生活スタイルの提案やモノを大切にする価値観、自然環境への好奇心を高めるトピックがあると、今後の脱炭素社会での生き方のイメージが可能になり、より伝わるのではないかと思う。 具体的ですぐにできることも伝わりやすいと思う。
意見12		エネルギー削減の影響について、小中学生がイメージしやすい様に図示したい。例として、自身、他者、社会へそれぞれどのような良い影響があるかなど。
事務局		意見10~11は改訂時に一部反映しました。

質問：主婦を対象とする勉強会について

委員	普及啓発部会に関係する議題の中には、「主婦を対象とした勉強会の開催について」というテーマもあったが、このように意識や行動の変容が最も求められる大人に対する勉強会についてはどうなっているのか。
事務局	現在、大人の方を対象とした環境教育には、「省エネ懇談会」があります。省エネ懇談会は、ふれあいサロンなど地域の自主的な集まりに参加した市民を対象に実施するため、参加者は年齢が高い主婦の方が多い傾向にあります。懇談会では、家事に関係した省エネ行動と、その結果家計の負担軽減につながることをお伝えしています。 一方、若い主婦層が参加しやすい勉強会は、現時点では全市民向けの「地球温暖化対

	策講座」になります。託児スペースを設けるなどして、参加までのハードルを下げる取組も行っています。
--	--

質問：市ホームページの閲覧等について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の助成金補助事業が市民の関心事に直結していることが理解できました。このことを、市民会議全体でもっと理解したいと思う。 ・HP等の閲覧実績をみても地球温暖化対策活動の内容が市民に浸透しているとは言い難く、市民生活に経済的な面で直結する、補助金等の閲覧件数は抜きこんでいることから、活動のシンボリックな位置づけとなる、市民の多くが情報を入手したくなるような何かが必要と思います。 ・もっと多くの市民に市HPを見てもらえる手段方法はないものかと思う。 ・市民の温暖化への関心と認知度の低さが、市ホームページ（以下、HP）内の「地球温暖化対策おおい市民会議」や「温暖化対策ガイドブック」の閲覧回数の少なさの原因ではと思う。普及啓発の促進に向け「地球温暖化問題を市民に普及する手段」をテーマとして、意欲がある委員たちで議論してはいかがでしょうか。
事務局	<p>行政窓口に来所する方のように、行政のHPにアクセスする方の多くは、自身の中に解決したい疑問や相談したい問題を抱えています。</p> <p>そういった方が検索しやすく、理解しやすいように、まずは市HPの整理やリンクの設置などを行い、構成や導線を見直します。</p> <p>また、検索エンジン用キーワードを複数設定し、検索の際、ページの上位に表示されるよう工夫したいと思います。</p> <p>なお、委員の皆さまの所属されている機関や団体が運営するホームページのアクセス数増加につながった工夫など、具体的な事例がございましたら、会議内で情報提供いただければと思います。</p>

質問：次年度の普及啓発活動について

委員	令和4年度については、リスクを負って普及啓発活動を実施してはいかがでしょうか。
事務局	令和4年度は、県の感染状況のステージ評価を勘案しながら、委員の皆さまと協働し普及啓発活動を進めて参りたいと思います。

意見・提案：ロードマップの作成について

委員	温室効果ガス削減目標に向けてのロードマップが必要と思う。
----	------------------------------

意見・提案：啓発内容、対象について

委員	<ul style="list-style-type: none">・一般市民への普及啓発が基本となっていますので、実行しやすい具体策をできるだけ提供できるよう考えたい。・普及啓発というと、子供達への環境教育が取り上げられがちであるが、実際に効果的で具体的な行動が出来る、あるいは行動しなければならないのは、今現在経済活動、社会活動をしている大人であって、子供達の意識はもちろん大事だが、決して子供達へ押し付けるようなことになってはいけないと思う。
----	---

意見・提案：出前授業等、ガイドブックについて

委員	<ul style="list-style-type: none">・出前事業はこのコロナ禍の中よく頑張っていると思う。全市の小・中学校を対象に計画を推し進めて欲しい。また、省エネ懇談会にしても同様の取組を進めていただきたい。・ガイドブックの改訂について、児童・生徒が実感できる内容になっていると思う。今後、さらに活用の幅が広がるような方法を検討できればと思う。・ガイドブックは対象が学校現場であることを考えての編集、作成をしているので現状の編集姿勢で十分と思う。発行部数をもう少し多くして欲しい。
----	---

意見・提案：普及啓発部会委員について

委員	会議資料への反響は、各委員の出身母体での活動分野で差があると感じる。委員の方の今後の活動と発言に期待したい。
----	--

意見・提案：SDGsについて

委員	温暖化対策と大いに関連がある SDGs（持続可能な開発目標）について、市民会議でしっかり内容把握をする必要があると思う。「SDGs の勉強会」を是非企画して欲しい。
----	--

2. 令和3年度地球温暖化対策講座について

質問：参加申請者の年代、職業について

委員	申請状況では、10代1名、30代3名から参加申請があったとあるが、残り19名の年代、また職業を教えてください。								
事務局	令和3年度の年代ごとの参加者申請者の人数を以下に示します。参加申請者：23名								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
	1	0	3	0	2	5	3	1	8
	なお、令和2年度の参加申請者は22名。うち、20代1名、50~80代21名でした。参加者の職業は、申請時にお伺いしておりません。								

質問：開催曜日変更による応募状況の変化について

委員	開催を土曜日としたことで、参加者の応募状況に変化があったか。
事務局	<p>開催日を土曜日にし、託児室も設置したことから、30代の女性3名（託児希望）からの参加申請がありました。昨年度は30代の参加者は0名でしたので、土日開催かつ託児室の設置は、子育て世代の参加促進に寄与するのではと思います。</p> <p>一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響であるかははかり兼ねますが、参加申請者数は期待したほど増加しなかったと感じます。</p>

質問：地球温暖化対策講座のオンライン開催について

委員	オンラインでの開催は考えていないか。
事務局	<p>過去3回実施した「地球温暖化対策講座」は、講座（座学）と実技（ワークショップ）を組み合わせたものであったため、オンラインでの開催は行いませんでした。</p> <p>来年度の講座の内容については、今回のご意見・ご提案等をふまえ、どのようなものにするか地球温暖化対策担当者会議内で協議、決定したいと思います。</p>

質問：ワークショップについて

委員	「縫わないTシャツエコバック」の作り方は、HPかどこかで紹介されているか。
事務局	「縫わないTシャツエコバック」の作り方は、市ホームページ内では紹介しておりません。講座に参加した方には、作成方法を記載した資料を配布しています。

意見・提案：今年度講座の開催中止について

- ・ 講座を開催できなかったことを大変残念に思う。
- ・ 講座が開催されず残念に思った。開催延期にさせていただきたかった。
- ・ 色々と勉強させて頂いた。市民講座の中止は残念だが、次回またご協力させて頂ければと思う。
- ・ 開催が中止になったのは非常に残念だが、今回の取り組みを次に活かしていけたらいいと思う。
- ・ 開催中止となったことは大変残念だが、多くの方（幅広い年齢層の方）に関心を持っていただけたことは、開催日時を工夫したことによると思う。次年度の開催に希望が持てる。
今年度の内容を次年度に引き続いていけたら良いと思う。
- ・ 一人でも多くの方が参加しやすい講座にするため、皆さん熱心に取り組んでいるので、今後に期待する。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大で中止をせざるをえなかったのは残念だった。継続的に、地道な活動が必要だと思う。担当委員になり、勉強になった。次年度も担当委員を希望する。

意見・提案：来年度講座について

- ・ 本年度は、会議等の開催が難しい状況であったが、市民と一緒にできる取り組みを行うことで、市民会議のPR等も含めて活動できればと思う。
- ・ 土曜開催にもかかわらず申込状況がいま一つであると感じたが、来年も土曜日開催が良いと思う。参加申込者に10代が1人いたことは、とても貴重なことだと思う。
- ・ 今回実施しなかった講義は、来年度の講義で実施してはどうかと考える。
- ・ ワークショップ（エコバッグ作成）は、来年度は異なる内容のものにしてはどうかと思う。
エコバッグは、必需品だがおおよそ行き届いていると感じる。
- ・ 年1回開催でなく、場所を変えて何回か開けないかと思う。
- ・ もっと多くの団体に告知できる方法がないものかと思う。
- ・ 高校生や大学生にも地球温暖化防止について興味をもってもらうため、彼らを対象とした講座内容を希望する。

3. 令和3年度実行計画推進部会の取組について

質問：令和3年度第1回市民会議全体会で提出された議題等について

委員	令和3年度第1回地球温暖化対策おおいた市民会議全体会議の報告にあがっていた実行計画推進部会で取り上げたいテーマとして、両部会に共通する議題、実行計画推進部会に関係する議題が挙げられていましたが、それらのテーマがどのように参考にされて協議されているのかを教えてください。
事務局	本年度は、対面による会議は第1回普及啓発部会、第1回実行計画推進部会の開催のみとなりました。このため、今年度の部会内で優先して協議しなければならない項目について、委員の皆さまにはご協議いただいたところです。 次年度の会議では、令和3年度の各全体会議でいただいた、ご要望、提案を主に協議してまいりたいと思います。

質問：重要な情報の共有について

委員	国の指針の進展に合わせ、常に新しい情報を把握できるよう、情報伝達方法を考慮して欲しい。また、環境通信に解説を掲載して欲しい。
事務局	国の最新の動向が得られる最も正確な情報源は、環境省ホームページ内の「報道発表一覧」になります。 市ホームページの整理などを通じて、市民が新しい情報を得ることができる環境づくりに努めてまいります。 また、国から重要な指針が公表された際には、環境通信等も利用し、市民の皆さまにも分かりやすい情報発信に努めてまいります。環境通信第16号（3月号）に「改正温対法」の解説を掲載しましたのでご拝読ください。 (参考) 環境省 HP 「報道発表一覧」 ジャンル：地球環境 https://www.env.go.jp/press/index.html

質問：データの取扱いについて

委員	<ul style="list-style-type: none">・CO₂排出量や活動を定量的に「見える化」してほしい。・大分市が取り組む地球温暖化対策の計画と進捗状況が一目でわかる総覧表があれば便利だと思う。具体的には、6つの柱ごとに計画と実績をグラフ化し、更に全体の進捗がわかればよいと思う。
事務局	<p>本市のCO₂排出量は、年に1回、国が収集・算出した数値を市の現状に応じた計算式に代入し、算出し数値でお示ししております。</p> <p>また、来年度、本市が行う地球温暖化対策関連事業については、改訂した地球温暖化対策関連事業調書を用い、ご協議いただきます。その中で、さらなる様式の見直しなどについてご意見を賜りたいと思います。</p>

意見・提案：計画の推進について

委員	<ul style="list-style-type: none">・計画を着実に進めるようお願いしたい。・大分市のCO₂排出量は大部分を産業部門が占めることから、家庭部門への関心が薄れる傾向にある。しかし国全体の視点からは家庭部門の排出量が15%を占めることや、排出量の多い産業、運輸部門等組織で働く人々の生活基盤は「家庭」にあることを重く受け止め、家庭部門の排出量削減に注力してほしいと思う。
----	--

意見・提案：エコビジネススタイルについて

委員	<p>資料3の中で、「エコビジネススタイルとは、事業所が事業活動において様々な省エネ活動(節電などの省エネ行動や廃棄物削減の取組など)を行うことによって、環境負荷の低減を図ることです。」とあるが、例えば、事業者が受注した建設工事において「創意工夫・地域貢献」という名目で、設計に入っていないが、材料の梱包材ゴミの分別を行うことを工事評点に加算するという事を取り決めると事業者の分別への意欲が高まると思う。このような事は工事担当者レベルではなく、発注者全体として統一することが効果的ではないか。事業者としても代表取締役などの代表者から社内全体への働きかけが効果的と思う。</p>
----	--

意見・提案：取組意識の低い事業者への働きかけについて

委員	<p>事業者によって環境への関心の有無や、意識の高い低いにバラつきがあると思うので、特に関心の無い、あるいは意識の低い事業者にも伝わる方法を考えると良いのではないかと。</p>
----	--

4. 令和3年度地球温暖化対策おおいた市民会議全体の取組および大分市の取組について

質問：クールビズ、ウォームビズ運動について

委員	<p>クールビズ運動（5～10月）やウォームビズ運動（11～3月）は、取り組みの結果（or 効果）について判定を実施しているのか。</p> <p>ウォームビズ運動について、市民へ呼び掛けをしていたのか。</p>
事務局	<p>クールビズ、ウォームビズ運動は、市ホームページや節電ポスター配布・掲示を通じ、行政・市民・事業者へ、参加の呼びかけと運動内容の普及啓発を図っています。特に、クールビズ運動については、毎年5月にテレビ局が夏服を着た職員の様子を放送するため、市民へ広く普及啓発できていると感じるところです。</p> <p>ウォームビズ運動については、啓発ポスター掲示により参加の呼びかけを行っています。</p> <p>平成23年度からクールビズ、ウォームビズ運動を実施していますが、冷暖房使用時の室温の適正化、夏場の軽装やノーネクタイ、冬場の重ね着等の取組は、民間企業等においても定着しているものと感じています。</p> <p>なお、本市では、市役所庁舎における月ごとの消費電力を確認することで、運動期間中の取組結果を評価・分析し、全ての職員に対し意識付けを行っております。</p> <p>（参考） 環境省 HP 「WARMBIZ」 https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/warmbiz/about/ 市 HP 「冬の節電キャンペーン「みんなで節電 2021（冬）」を展開しています」 http://www.city.oita.oita.jp/o141/machizukuri/kankyo/2019setudenwinter.html</p>

質問：出前授業等への参加について

委員	<p>地球温暖化対策出前講座、省エネ懇談会に参加、拝聴させて欲しい。</p>
事務局	<p>令和4年度の地球温暖化対策出前授業は7月末頃、省エネ懇談会は5月上旬頃に開催日が決まります。</p> <p>上記の時期が近くなりましたら、再度事務局までお申出ください。受け入れ先機関（学校や団体）に確認し、参加日をご案内させていただきます。</p>

質問：地球温暖化対策出前授業について

委員	普及啓発部会メンバーや、講師希望者を募って講演していただいておりますか。
事務局	<p>小中学校で行う地球温暖化対策出前授業の講師については、各学校の要望に応じ派遣しております。1時限（45分）を選択した場合は、市職員が講師を務め、2時限（90分）を選択した場合は、市職員と地球温暖化対策おおいた市民会議委員が講師を務めます。</p> <p>第8期地球温暖化対策おおいた市民会議に所属している委員の皆さまには、令和3年度第1回地球温暖化対策おおいた市民会議全体会議で、講師として参加可能か否かを伺いました。その結果、以下の5名1事業所から参加可能の申出をいただきました。</p> <p>なお、市内の小中学校には別紙の「地球温暖化対策授業メニュー」を配布しています。2時限を希望する学校は、冊子に記載されたプロフィールや得意とするテーマ等を参考に、希望する講師の派遣を本課に依頼することになっています。</p> <p>（講師） 小野ひさえ委員、細井委員、小坂委員、柿本委員、桑野委員、大分瓦斯株式会社 大分市清掃業務課、大分市環境対策課</p>

質問：読み聞かせ運動について

委員	環境ブックの読み聞かせ運動で読み聞かせている本、環境関連図書の一覧が欲しい。また、それらの閲覧をすることができるか、閲覧できるならどこでできるのかを知りたい。
事務局	<p>環境ブックの一覧は、市ホームページ内で公開していますので、ご覧ください。</p> <p>・令和2年度に使用された本の一覧 市HP「環境ブックの「読み聞かせ」をしましょう！」 http://www.city.oita.oita.jp/o141/machizukuri/kankyo/yomikikase30.html</p> <p>・令和3年度に使用された本の一覧 市HP「6月の環境月間中に「環境ブックの読み聞かせ運動」を行いました」 http://www.city.oita.oita.jp/o141/machizukuri/kankyo/yomikikasekekka30.html</p> <p>環境ブックは、県立図書館、市立図書館、地区公民館等に収蔵していますので、各施設でご借覧ください。</p>

質問：冬の節電ポスターについて

委員	冬季の節電啓発ポスターに「2021 冬」と記載されていたが、知人から「年越しをして2022年の冬になっているのに、この表記ではいかがか。」という意見をいただいた。文言などを再考してはいかがか。
事務局	ご指摘いただきありがとうございます。次年度のポスターの作成時に反映いたします。

質問：大分市公式アプリの周知について

委員	「大分市公式アプリ」について市民会議委員の皆さまに周知できると良いと思う。使用方法に説明や実際に使用してみるなど、会議中に実施してみたい。また、操作性が良く分かりやすいアプリなので、大学生などの一人暮らしの若者へ周知できるようになると良いのではないか。
事務局	大分市公式アプリでは、以下の情報を提供しています。 <ul style="list-style-type: none">・ごみ関連（ごみ収集カレンダー、家庭ごみ分別事典、ごみの出し方等）・防災危機管理・休日夜間当番医 等 「ごみ関連」機能について紹介するチラシをごみ減量推進課で作成し、別途送付しておりますので、大分市公式アプリをダウンロードしてご利用ください。 なお、このチラシは、市内支所等以外に、大分大学構内生協、日本文理大学内にも掲示しております。また、新年度に大学周囲の集合住宅などにチラシをポスティングするなど大学生などの一人暮らしの若者に対し普及啓発に努めております。

意見・提案：啓発方法や内容について

委員	<ul style="list-style-type: none">・もっと多くの市民が参加でき、学べる場所づくりができないものかと思う。・エコチャレンジは、娘の小学校での取り組みを聞いて、また資料にある参加率を見ると大変成果が上がっているように思う。ただ、書面での取り組みと実生活が結びついているかは疑問が残る。児童・生徒とともにその家族の意識向上が求められるためである。 今後の会議の場で、子どもへの啓発とともに、各世代に焦点を合わせて家庭（単身を含む）レベルでの意識改革に向けた取り組みを考えていければと思う。
----	---

意見・提案：環境問題へ関心を持たせることについて

委員	幼児期から環境問題に関心を持たせることは、大変重要なことだと思う。現在の日本は、空気も水もきれいなので、それが当たり前と思っている子供も多いと思う。過去の日本の状況（四日市ぜんそくなど）や現在のインドなどのように大気汚染に悩んでいる地方のことなどを含めて、子供たちに環境問題の大切さを伝えて頂きたい。つまり、歴史的な視点やグローバルな視点で考えられるようにして頂きたい。
----	---

意見・提案：水素利活用シンポジウムについて

委員	水素利活用シンポジウム 2021 は少々堅苦しい内容だったが、先進的な方向性が把握でき、大変参考になった。
----	---

5. 両部会に共通する項目について

意見・提案：会議の開催形式について

（1）対面開催希望

委員	コロナ禍が治まったら、対面で何回か会議をしたいと考える。集まって協議することはとても大切なことだと思う。
----	--

（2）対面開催とオンライン開催の同時開催希望

委員	新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症については先行き不透明なため、次回以降はオンライン会議の環境も整えておくべきような気がする。 委員の皆様によっては、会場開催とオンライン開催のハイブリット型にせざるを得ないと思う。 この「おおいた市民会議」は意見交換、情報交換、交流の意味合いが濃い会議だと思うので、書面会議という形式はあまり馴染まないように感じます。ハイブリッド型の開催検討をお願いしたい。
----	---

（3）オンライン開催希望（対面開催が不可能な場合）

委員	・実行計画推進部会は大分市の地球温暖化防止について重要な位置づけであるため、このような状況であってもオンラインでの開催は可能と思われるがいかがか。 ・地球温暖化対策おおいた市民会議を書面会議ではなく、Web 会議で開催できないか。
事務局	次年度はハイブリッド型での開催も含め検討いたします。 委員の皆さまにおかれましては、会議方式に関する意向調査や、オンライン開催の場合は開催前の接続テストなどにご協力いただきますようお願いいたします。

意見・提案：交流の場について

委員	事業者の取組、各団体の取組等を紹介できる交流の場を、何らかの方法で設けることができればと思う。
----	---

意見・提案：部会の報告書等について

委員	所属していない部会の議事録、報告書も市民会議全員に送り、情報を共有してはどうか。
事務局	来年度より、両部会の報告書を委員の皆さまへ送付いたします。